

認知症介護の スキルアップ講座

2019年9月10日(火) 14:00→15:30

[会場] 丸亀市飯山南
コミュニティセンター集会場

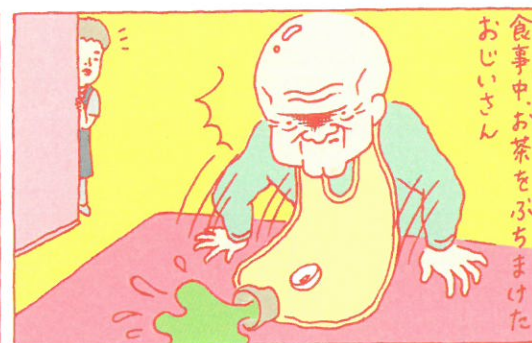
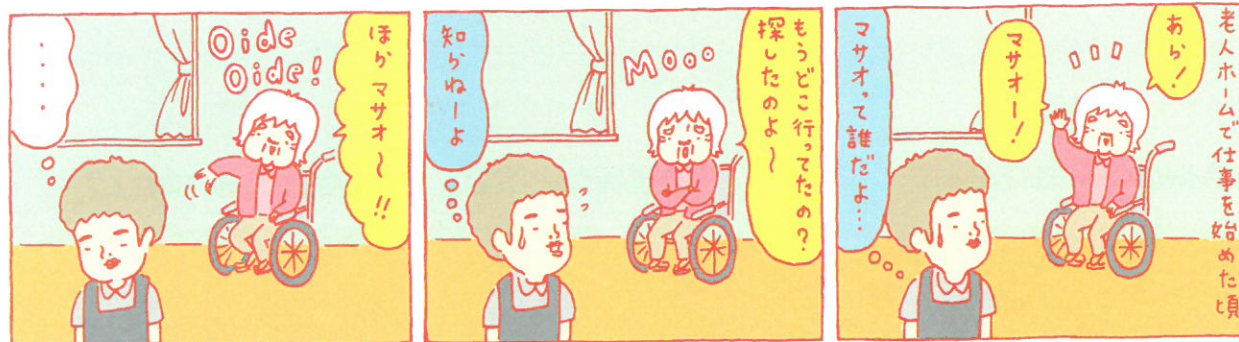
2019年9月10日(火) 19:00→20:30

[会場] 丸亀市生涯学習センター
5階小ホール

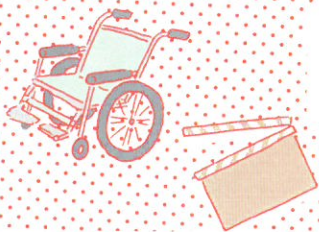
[定員] 各会場40名(要申込・先着順)

[料金] 無料

!? 演じて 見る



【主催】丸亀市産業文化部文化課



!? 演じて 見る

認知症介護の スキルアップ講座

[日時] 2019年9月10日(火)14:00→15:30
 [会場] 丸亀市飯山南コミュニティセンター集会場
 [日時] 2019年9月10日(火)19:00→20:30
 [会場] 丸亀市生涯学習センター5階小ホール
 [定員] 各会場40名(要申込・先着順)
 [料金] 無料

認知症になると、物忘れや勘違いが増え、時には失敗をしてしまいます。ぼけを直すのではなく、受け入れることで、今この瞬間を楽しむことができる介護に変えていきます。認知症の人の気持ちを体験しながら、楽しく学べるワークショップです。



◎講師紹介

菅原直樹氏(劇作家/演出家/俳優/介護福祉士)
 「老いと演劇」OiBokkeShi主宰。平田オリザが主宰する「青年団」に俳優として所属。2010年より、特別養護老人ホームの介護職員として働く。2014年より認知症ケアに演劇手法を活かした「老いと演劇のワークショップ」を全国各地で開催。平成30年度芸術選奨文部科学大臣賞新人賞(芸術振興部門)を受賞。

1. 老いと遊び

老いを受け入れるヒントは「遊び」にある



介護現場で実践されている演劇的手法「遊びリテーション」を体験。身体を使って他者とコミュニケーションを取る喜びは、演劇の原点。「できる」「できない」にこだわらず、「いまここ」を楽しむ遊びの価値観を介護現場に持ち込みましょう。

2. 認知症ケアと演技

認知症の人の言動を「演技」で自然に受け止めよう



介護職員の食事の声かけに対して、食事に行きたがらずに「田植えに行く」と答えるおばあさん。「認知症の人」と「介護者」を交互に演じて、否定されたときの認知症の人の気持ちや、認知症の人の言動を受け入れるコミュニケーションを疑似体験。認知症の中核症状や、BPSD(行動・心理症状)が生じるメカニズムについて、わかりやすく解説します。

演じて見る!? 認知症介護のスキルアップ講座

◎返信先

Fax: 0877-24-8863

Email: kaikankensetu@city.marugame.lg.jp

参加者氏名(勤務先名)

会場

- 丸亀市飯山南コミュニティセンター集会場
 丸亀市生涯学習センター5階小ホール

ご住所(〒

-

)

勤務先 自宅

参加人数

電話番号

Fax(受付完了のお知らせをFaxまたは郵送にて返信いたします)